

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	紹介議員氏名	付 託 委員会名	議決結果
24年第2号	24.2.27	<p>公共施設等への災害対策用LPガス設備等の導入に関する        請願</p> <p>昨年3月11日に発生した東日本大震災は、東北三県は言うに及ばず本県にも未曾有の大災害をもたらし、今なお社会全体が深刻な影響を受けている状況にある。</p> <p>今般の大震災では、道路、鉄道、電気、水道、ガス等のライフラインが一瞬のうちに破壊され、被災者の生活支援が大きな課題となった。また、ガソリン不足という問題が生じ、国民生活への支障のみならず復旧・復興活動の大きな妨げになったところでもある。</p> <p>そのような中、LPガスはどこにでも供給できる分散・自立型エネルギーであることから、各家庭のみならず避難所や仮設住宅等においても、調理、給湯、暖房などのエネルギー源として大活躍した。また、ガソリンや軽油が不足する中、LPG車が応急復旧に駆け回るなど各方面で活躍した。当協会においても、会員事業者が避難所へのガス供給やLPガス機器の提供などできる限りの協力をさせていただいたところである。</p> <p>LPガスは「災害に強い」とこれまでも言われてきたが、今回の大震災において、災害に強く、非常時のエネルギーに最適であることが改めて実証されたところである。</p> <p>一方、大震災に引き続く東京電力福島第一原発事故は広範な地域に放射性物質を拡散させ、電力供給不足を引き起こした。昨夏の電力不足は15%の節電対策で何とか乗り切ることができたが、今後原子力発電所の再稼動が困難な状況下において電力不足はますます拡大すると見られ、社会経済に与える影響は極めて深刻となっている。</p> <p>このため、政府はエネルギー政策の見直しに着手したが、今までの過度な原発依存政策から脱却し、再生可能エネルギ</p>	<p>社団法人茨城県高圧ガス        保安協会        会長 立原 孝夫</p>	<p>海 野 透        葉 梨 衛        西 條 昌 良        桜 井 富 夫        白 田 信 夫        菊 池 敏 行</p>	<p>防災環境        商工</p>	<p>採択</p>

	<p>一ばかりでなく天然ガスやL Pガスなど化石燃料の再評価が行われるのは確実であり、エネルギーミックスを目指す方向に舵を切り直すものと見られている。</p> <p>このような状況下において、L PガスはCO<sub>2</sub>排出が少ない環境にやさしいエネルギーであり、エアコンなどの空調設備に使用すれば、夏、冬場の電力最大時のピークカットや節電対策にも極めて効果的である。</p> <p>また、近い将来、首都圏直下型大地震や東南海大地震等の発生も予測される中、避難場所となる学校、公民館、病院などの公共施設や県の出先機関等にL Pガス設備・機器及びL P G車を常設しておくことが、災害対策上極めて重要になることは間違いない。</p> <p>については、公共施設等に次のL Pガス設備等の積極的な導入を要望する。加えて、県地域防災計画を見直しする際には、災害対策用L Pガス設備等の導入を検討してもらえるよう要望する。</p> <p>1 L P G車 今回のガソリン不足の中、L P G車は何の問題もなく活躍した。東北三県の被災地では、タクシーを始めとするL P G車が大活躍したとの報道があったところである。今後の大災害時に備え、公用車の何台かをL P G車にしておけば非常に助かるものと思料する。</p> <p>2 GHP (ガスヒートポンプ) ガスエンジンで駆動させるガス式エアコンで電気をほとんど使わない。政府は、夏季の節電対策に効果的だとしてGHPの普及・活用を推奨した。また、東日本大震災後の電力需要面での対策としてGHP導入に対する補助制度を設けた。</p> <p>3 L Pガス燃料電池 (通称エネファーム) L Pガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させて発電する燃料電池。発電するときに発生する排熱でお湯を沸かして給湯や暖房ができるので、エネルギーの無駄を</p>				
--	---	--	--	--	--

		<p>省く。政府は今後、分散型発電の普及（電力の地産地消）を図るとしており、エネファーム導入に対する補助金制度を設けている。</p> <p>4 LPガス機器（ガスコンロ、ガス炊飯器、ガスストーブ、ガス給湯ユニット、ガス発電機）</p> <p>「暖かいものを食べたい」「お風呂に入りたい」というニーズは、避難所ではトップランク。また、被災後の夜の暗さは大きな不安要素となる。避難所となる施設には、これらを常備しておくことが大切である。</p> <p>5 LPガス災害対策用バルク</p> <p>平常時には学校給食や家庭科の授業にも活用でき、災害発生時には避難所のエネルギーとして活用する。十分な軒下在庫を備蓄できるので、多数の避難住民が集まっても、避難が長期化しても対応が可能である。</p>				
--	--	---	--	--	--	--